

松原市指定有形文化財 美術工芸品 古文書 書第一号
栄久寺 紙本墨書 教如上人消息 一幅

本紙一〇・八_チ×三八・〇_チ

(翻刻)

去月二日大坂令

退出、至雜賀

在津候、無念之

雖始末候、端城等

就令破脚、不及了

簡次第成下、如

此候、就其今度

予一味同心之衆

毛頭氣遣有間

敷候、各被嗜自

法義、猶以真俗

共馳走憑入計候、

穴賢く

九月六日 教如(花押)

河内国

坊主衆中

同門徒衆中

(読み下し文)

去月二日大坂退出せしめ、雜賀に至り在津候。無念の始末候といえども、端城等破却せしむるにつき、了簡に及ばざる次第成下し、かくの如くに候。それにつき今度予一味同心の衆、毛頭氣遣いあるまじく候。各自ら法義を嗜まれ、猶真俗とも馳走憑たのみ入るばかり候。あなかしこ、あなかしこ。

九月六日 教如(花押)

河内国坊主衆中・同門徒衆中